

# 陸上自衛隊第10師団及び通信事業者との合同防災訓練を実施 ＜災害時における貸出用移動通信機器のヘリへの搭載訓練＞

東海総合通信局(局長:北林 大昌)は、令和5年2月20日(月)に伊勢市の陸上自衛隊明野駐屯地において、陸上自衛隊第10師団及び通信事業者と合同でヘリコプターへの物資搭載訓練を実施しました。

当局は、令和2年度に陸上自衛隊第10師団との間で「災害時の相互協力に関する協定」を締結しており、昨年度から合同防災訓練を実施しています。当日は、当局の他に西日本電信電話株式会社、KDDI株式会社、ソフトバンク株式会社が参加しました。

本訓練は、大規模災害発生により通信が途絶え孤立した地域を想定し、当局が保有している貸出用通信機器(衛星携帯電話、簡易無線機、MCA無線機等)や、携帯電話事業者の資機材をヘリで輸送し、通信手段の早期復旧を図るものです。

当日は、各社の車両から通信資機材を搬出し、自衛隊員の指導のもと、ヘリに搭載・固定し、実際に飛行するという実践的な訓練を行いました。

当局では、今後も災害時における地域住民への通信手段の確保のため、関係機関との連携を深めながら訓練を実施していくこととしています。



【機材をベルトでヘリに固定している様子】



【機材をヘリに運び込んでいる様子】



【搭乗状況】